

2007-11-13 23:42

やはり停滞しているのか？  
皆さんこんばんは

I Tに詳しい国会議員として、平井たくや議員を紹介したことがあります。昨年9月11日に香川県までお目にかかるチャンス을 いただいて、電子申告について単独陳情に行きました。その平井議員は現在、国交省の副大臣になられたので、最近はあまりI T関連の情報はありますが、かつてのご縁があるため、ブログを久々に拝見しました。

<http://www.hirataku.com/blog/index.asp>

I Tの話題を見つけたので、国会議員さんの感覚を紹介することも含めて、ここにその文章を引用させていただきます。先月末の書き込みです。

---

今朝は8時から **U-Japan** 特命委員会に出席。私の後任の谷本事務局長の司会で会議は進行した。谷本議員には内閣府政務官、経産部会長等ずっと私の後任を務めてもらっている。今日は、年金記録管理システムの経緯と当面の取り組みについて社会保険庁とNTTデータから報告、更にI Tを活用した地域活性化について内閣官房I T担当室と各省から報告を聴取。年金記録に関しては、それなりに体制も整って、社会保険庁の取り組み姿勢も従来とは明らかに変わった。これからは粛々と着実にミッションを遂行するのみだ。また、NTTデータについては、過去の反省を踏まえて今後どうするのが注目される。最後に私が質した「どうしてこのような事態になったのか？何が悪かったのかを一言で説明せよ」という問い掛けの答えは、大変興味深いものであった。内容には敢えて触れないが、その答え方で仕事のスタンスがわかる。また、後半の議題であるI Tを活用した地域活性化については、多くの議員から疑問が投げかけられた。先ずは、各施策が相変わらず省庁縦割りで、総合戦略が見えないこと。また、我が国におけるI T政策の優先度が低下していること等は誰もが問題視している。今日の報告を聞いても、新しい息吹もやる気も感じられなかった。結局のところ、I T政策に関しては、国の司令塔がないのが一番の問題だ。新しい国のカタチを創造するのがI T政策なのに、今頃になって「I T担当大臣は誰だ？」という質問が出るようでは、推して知るべしである。

---

いくつか、なるほどと思う点があります。

まず、NTTデータ。国税の世界でも、e-Taxを受託したのはNTTデータで、信じられないまさかのソフトを平成16年にリリースしてくれました。最初にやった者がどれだけ大変だったか。社会保険の方もそうだったんですね。いくら、もと電電公社といえども、ここまでまともにシステム開発のできない会社をなぜ使っていくのか、理解に苦しむところです。わざと、バグだらけにして、それを修復するのでまたビジネスにするというのは本当なのでしょうか。国民からすれば、とんでもなく迷惑な話です。

そして、「各施策が相変わらず省庁縦割りで、総合戦略が見えない。」というのも、ごもつともです。この点も、当初から申し上げている点です。総務省というリーダーシップを取るべき省庁がありながら、何でバラバラなのだろうか？内閣官房IT室はどうしてるのでしょうか？

「IT政策に関しては、国の司令塔がないのが一番の問題」。この点ももつともです。小泉さんのときは、まだ、引っ張る力が動いていたように感じますが、今は、なんとなくやっているような感じさえします。これでいいのでしょうか？

「新しい国のカタチを創造するのがIT政策」これも同感。私もそう信じている者です。

平井議員にIT担当大臣をお願いしたい。なにか、もっと、ぱっとした施策が欲しいところです。